

13 同居人・配偶関係別の自殺の状況

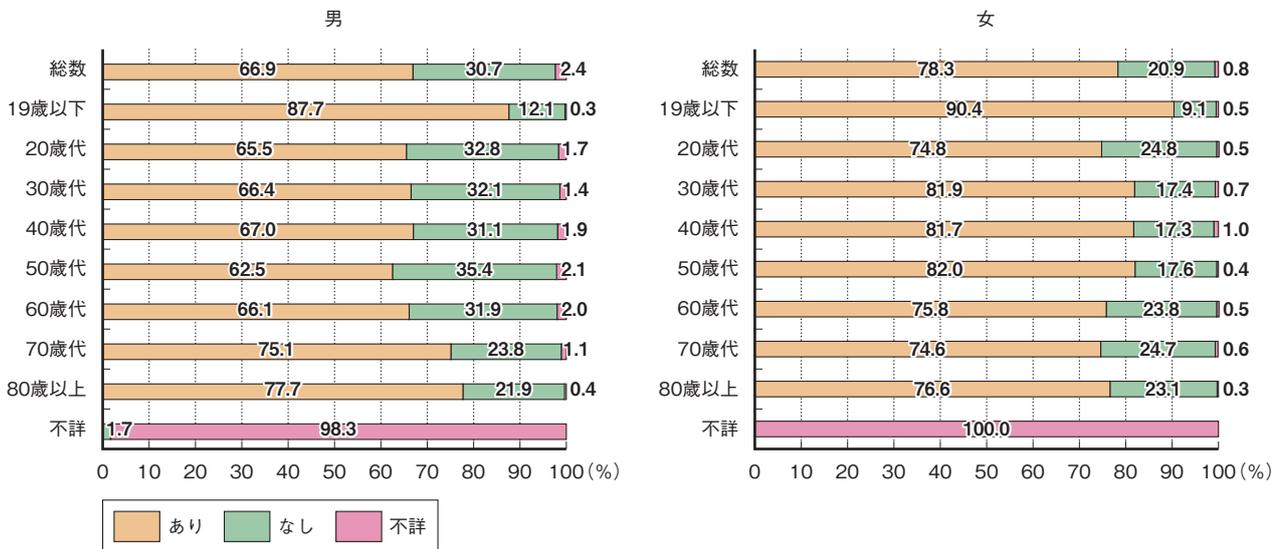
平成22年における同居人別の自殺の状況について、自殺統計によれば（第1-40図）、男女とも、全ての年齢階級で、同居人が「ある」者が多くなっている。

平成21年における配偶関係別の自殺の状況を見ると（第1-41図）、総数は男女とも、「有配偶者」（男9,667人（43.6%）、女3,518人（41.4%））が最も高くなっている。年齢階級別にみると、男女とも、20歳代・30歳代は

「未婚」が多く、40歳代以上は「有配偶者」が多い。

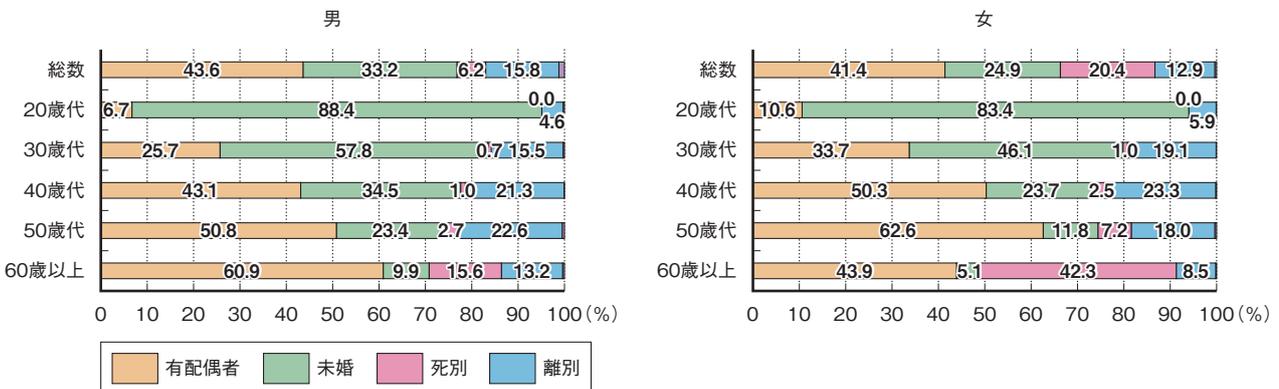
次に、平成17年における配偶関係別の自殺死亡率の状況を見ると（第1-42表）、男女とも、「有配偶者」は全ての年齢階級で各年代別の総数よりも低くなっている一方、「未婚」、「死別」、「離別」は各年代別の総数よりも高くなっている。特に、40歳代及び50歳代の男性の「離別」が高くなっている。

第1-40図 平成22年における同居人の状況別自殺者数の構成割合



資料：警察庁「自殺統計」より内閣府作成

第1-41図 平成21年における男女別・年齢階級別(10歳階級)・配偶関係別の自殺者数の構成割合



注意：1) 総数には、15～19歳及び年齢不詳を含む。
2) 総数には、配偶関係不詳を含む。

資料：厚生労働省「人口動態統計」（再集計）

第1-42表 平成17年における配偶関係別の自殺死亡率（配偶関係別人口10万人当たり）の状況

| 男 | 年齢階級 | 総数 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳以上 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 総数 | 42.4 | 28.3 | 34.6 | 49.9 | 60.6 | 45.2 |
| 有配偶者 | 32.6 | 15.2 | 17.3 | 32.5 | 43.2 | 34.7 | |
| 未婚 | 40.9 | 29.9 | 48.2 | 75.5 | 98.4 | 101.1 | |
| 死別 | 87.0 | — | — | 111.9 | 124.2 | 81.9 | |
| 離別 | 202.8 | 148.1 | 199.7 | 228.1 | 231.2 | 163.3 | |

| 女 | 年齢階級 | 総数 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳以上 |
|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| | 総数 | 14.8 | 12.9 | 12.8 | 12.7 | 15.1 | 18.7 |
| 有配偶者 | 10.9 | 6.6 | 6.6 | 9.1 | 12.1 | 14.4 | |
| 未婚 | 14.8 | 14.0 | 20.8 | 21.2 | 28.1 | 23.9 | |
| 死別 | 24.3 | — | 78.7 | 31.0 | 23.0 | 23.9 | |
| 離別 | 35.1 | 48.2 | 46.1 | 35.8 | 32.3 | 28.6 | |

注意：総数には15～19歳及び年齢不詳・配偶関係不詳を含む。

資料：厚生労働省「人口動態統計」（再集計）より内閣府作成